

二中学区地域の輪をつくる会

3つの誓い

- ふれあいの輪を 広げましょう。
- あいさつを かわしまししょう。
- 明るい家庭生活を 築きましよう。

vol.92

ふくわ

●発行 二中学区地域の輪をつくる会 ●編集 広報委員会 ●事務局 市毛コミュニティセンター内・ひたちなか市市毛980・TEL.029(272)3766 ●印刷 弘美印刷(株)

令和2年度 二中学区地域の輪をつくる会 定期総会

“書面表決”で実施 —新型コロナウイルス感染防止のため—

書面表決

—全ての議案が可決—

二中学区地域の輪をつくる会の定期総会は、4月18日に開催予定をしておりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面表決となりました。

議決権を有する代議員72名に議案書と表決書を送付し、71名から各報告並びに各議案について、賛否の回答を得ました。回答を得た表決書の確認を4月18日、本会監事及び市毛北、市毛南自治会長の立会いの下、集計を行いました。その結果、全ての報告及び議案について、過半数の賛成を得て可決されました。

新年度に際して 会長あいさつ



二中学区地域の輪をつくる会 会長 兼山 隆

「新型コロナウイルス感染拡大防止」の大きな制約を受けての「新年度スタート」でした。

市より委託を受けて管理運営している津田・市毛コミュニティセンターも休館し、6月1日から再開いたしました。6月1日の注意を払っての運営を余儀なくされております。

その間、地域の皆さまには肅々とご協力いただきまして心から感謝しております。

また、本会の総会につきましても本来なら新年度の事業計画を示して、予算に係る質疑を行い、議決していただくところですが、書面表決による決定という異常状態での船出となりました。

さらに、6月末の理事会で、今年度予定した多くの事業(運動会・コミュニティまつり等々)を中止とする厳しく寂しい決定をいたしました。

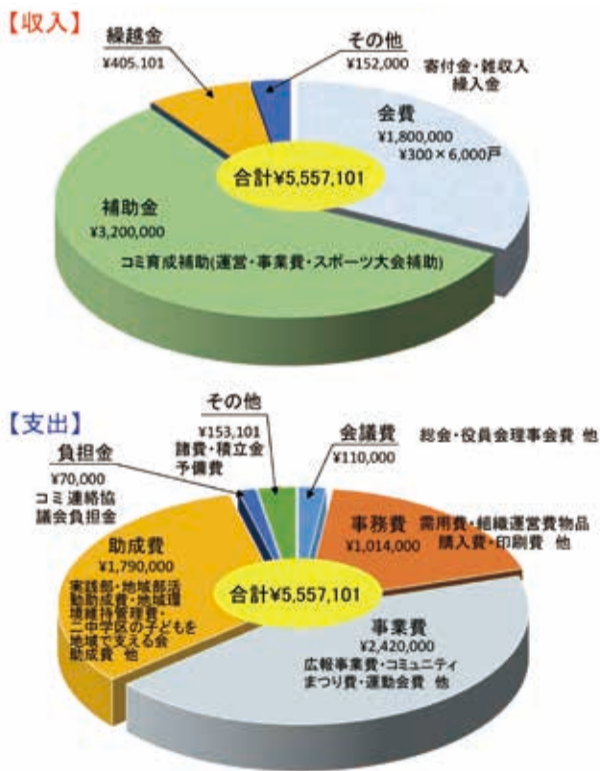
しかしながら、コミュニティ活動におきましては、基本理念であります地域住民の絆づくりを努めてまいりたいと考えております。昨年の台風19号による水害の折には、即座にボランティア組織を編成し災害廃棄物の搬出にご尽力いただきました。

これからの超高齢化時代においては、災害時ばかりではなく日常生活においても「お互いさま精神」による日常生活支援の仕組みづくりが急務となっております。

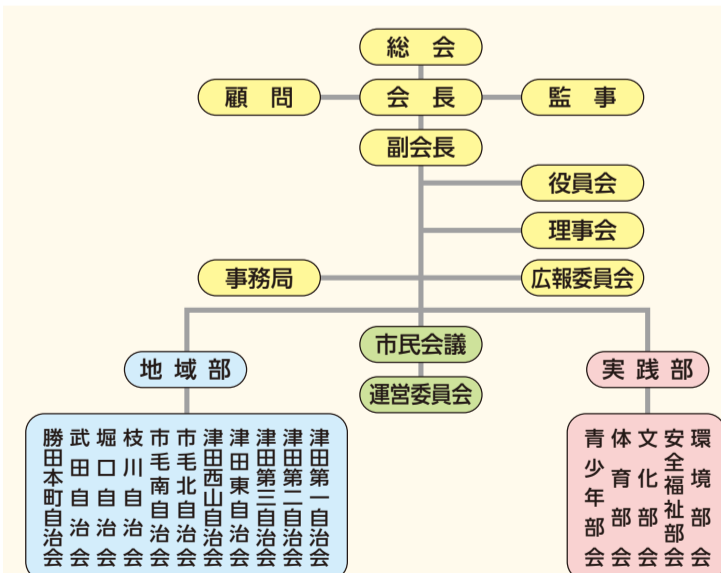
なぜなら、われわれの生活は「ウイズコロナ」はもろろん「アフターコロナ」においても続いていくわけですから…。

日常生活支援事業については、すでに地区内においても、先駆的に取り組んでいるグループもありますので、多くのグループが立ち上がるよう情報の提供等支援してまいりたいと考えております。どうか今後とも本会の事業に對しまして、深いご理解と力強いご協力を切にお願いいたします。

令和2年度予算



※収入において、コミ育成補助金の内、補助対象事業で中止となり、予算を執行しない補助金は返還する見込みです。



退任者へ 感謝状贈呈

今回、二中学区地域の輪をつくる会を退任された功労者へ感謝状が贈られました。 武田自治会長 角谷 吉成 輪をつくる会監事 佐藤 賢治 同 事務局員 矢板 栄 体育部会・部会長 遊佐 保

事業計画の重点項目

- (1) 地域部と実践部の連携による活動の推進
  - ・ 青少年の健全育成
  - ・ 福祉活動の推進
  - ・ 地域環境の改善、浄化、美化
  - ・ 「ふれあい会議」の推進
- (2) 住民の相互信頼とふれあい運動の推進
  - ・ 地域や家族での「あいさつ」の奨励
  - ・ 健全な家庭づくり運動
  - ・ 体育、文化行事への住民参加
  - ・ 地域に根ざした学びあい活動



**「ふれあいコーディネーター」にあなたの困りごとや心配ごとをお気軽にご相談ください**

ふれあいコーディネーターって何？  
二中地区のみなさんの身近な相談員です。高齢者や子育て世代の方の生活に困りごと、悩みごと、不安な気持ちなど、お気軽にご相談ください。

どんな事が相談できるの？  
生活に困りごと、悩みごと、不安な気持ちなど、お気軽にご相談ください。

相談・お問合せ先  
相談日：月曜日、水曜日、金曜日  
時間：午前9時～午後4時  
場所：ふれあいコーディネーターセンター  
〒520-0201 津田第三中学校区  
〒520-0202 津田第二中学校区  
〒520-0203 津田第一中学校区  
TEL FAX 029-219-5355 (直通)

ふれあいコーディネーターのチラシ



平成27年4月の介護保険法改正により、新たに「生活支援体制整備事業」が始まりました。高齢になっても社会と関わり、住民同士で支え合いながら暮らす地域づくりを推進するもので、全国の市町村が多様な取り組みを始めています。

ひたちなか市でも、地域の支え合いの充実に向けて、各中学校区単位で協議会(話し合いの場)設置を呼びかけ、市内で初めて第二中学校区に「二中地区ふれあい会議」が平成30年5月に設立されました。

市の支援を受け、自治会、コミュニティ、ボランティア団体、民生委員、サロン、NPO、介護保険事業所、高齢者クラブ代表、保健推進員、社会福祉協議会、包括支援センター、行政関係課などの代表者が集まり、住民も専門職も区別なく自由に意見や情報を交換し、みんなで支え合う地域づくりに取り組んでいます。

取り組みの中で、委員を中心に高齢者サロンを立ち上げ、令和元年度には地域福祉の相談や地域資源の開発・ネットワーク構築などを行う「ふれあいコーディネーター」を配置しました。

ただし、住民主体の取り組みは、暮らしの延長線上に生まれるものであり、世代やニーズもさまざまな人が交じり合います。取り組みながら徐々に形ができていくもので、最初から仕様やルールが決まっているわけではありません。住民の中に支え合いへの共感が広がるきっかけや進め方は一つではなく、住民自身のペースや関心次第と言えます。進め方やスピードをあらかじめ決めるやり方は馴染みにくいいため「二中地区ふれ

**二中地区  
ふれあい会議**

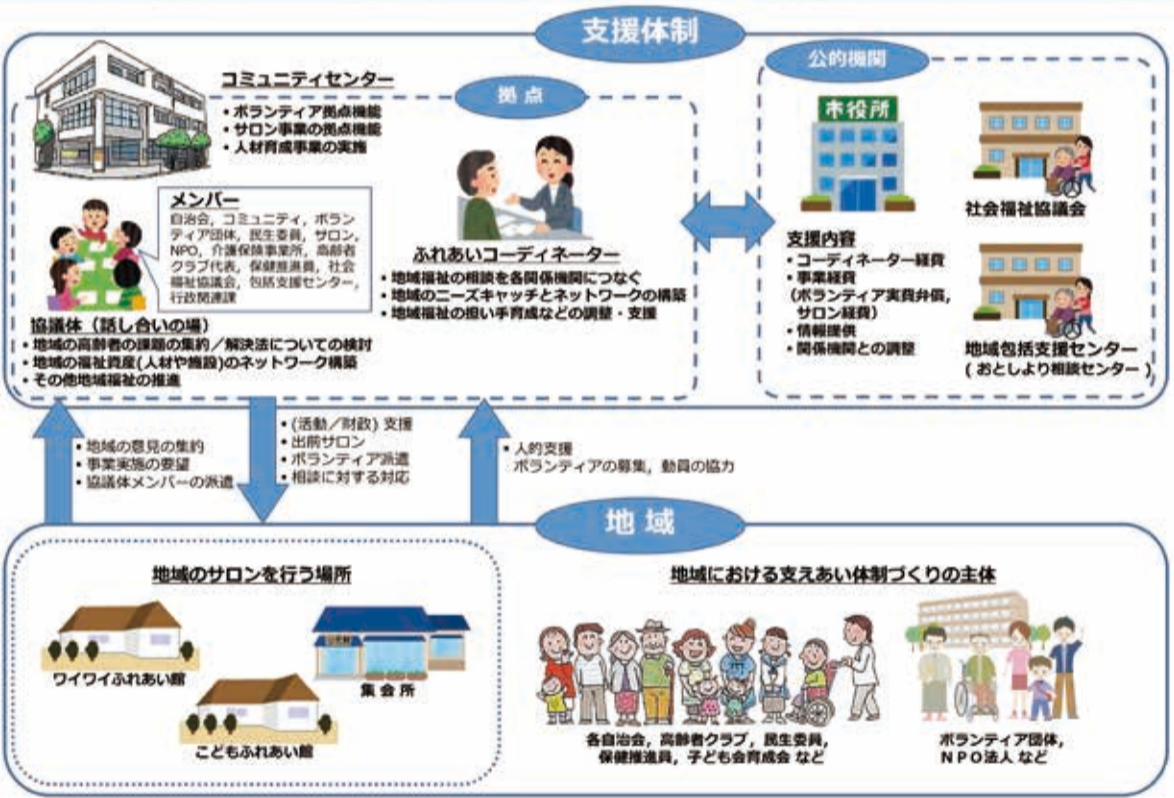
**新自治会長あいさつ**

武田自治会長  
会長 **武田 和時**

茨城に来て50年、愛媛生まれ大阪育ちです。皆さまにご指導をいただきながら、任期の2年を無事に努めたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

自治会の事業では特に子どもにかかわることに興味があります。また、新型コロナウイルスのためいくつかの重要な事業が中止になりましたが、長い目でみて何か役立ちそうなお手伝いをお願いします。

**「二中地区ふれあい会議」イメージ図**



「あい会議」では、各地区の特性に応じて家事援助などの生活支援策の取り組みを検討しています。

私たちは、9年前の東日本大震災や今年の新型コロナウイルス感染症など、今まで全く想像もしていなかった災害に遭遇し、どうやって生きていくのか、どうやって暮らしていくのか、誰もが不安とともに人と人との繋がりの大切さを実感しているのではないのでしょうか。

これらのことを踏まえ、本年度は、「二中地区ふれあい会議」専用の電話を新設し、相談業務

あいの会議」では、各地区の特性に応じて家事援助などの生活支援策の取り組みを検討しています。

それぞれの人が自分を大切に、互いの個性やプライバシーを尊重しながら、困ったときはお互い様と自然に助け合い、自分の能力を生かしながらどんな状態になっても尊厳を持って暮らし続けることができ、本年度も「二中地区ふれあい会議」は活動します。

の充実と各種団体との連携強化を図るとともに、できるときにできることを無理なく協力してくださる人たちの輪を広げていきます。

「生活支援協力員」登録を進めていきます。



空家の除草後



空家の除草中

**津田第三自治会  
寿会の活動**

津田第三自治会傘下の寿会は、平成27年4月の設立以来、サロン・部活動を通じて会員相互の親睦を図ってきました。自治会からも補助金など温かい支援を受け、自治会事業のお手伝いにも積極的に取り組んでいます。

昨年9月に実施されました、役員視察研修会で『新潟市山潟地区コミュニティ協議会』とディスカッションをする機会を得ました。ここでは高齢者に対するゴミ出し支援事業や、超高齢者地域支えあい事業制度の説明を受けました。

当地区でも、高齢化が進む中、超高齢者への支援をボランティア活動の一環として、積極的に取り組んでいる自治会がありますので紹介します。

困っている高齢者からの要請に「我々ができること」を「我々が出来る時」に「ちよこつとゴミ出し」や「ちよこつと庭木手入れ」や「ちよこつと片付け」を実施しています。

取り組んでいます。各種活動の中から、環境部会が自治会と連携して取り組んでいる活動をご紹介します。

通学路や空き家周辺道路のはみ出し樹木・道路沿い雑木の伐採による見通しの改善、倒木危険の除去・除草などを進めています。

伐採木は、希望者にストロブ燃料・シイタケ栽培原木として提供しています。これらの活動は、全て地権者・関係者の了解を得て、ボランティアで実施しています。



伐採後



伐採前

**「高齢者支援事業」の取り組み**



### 今年度の市民会議 テーマ

#### 市毛幼稚園跡の活用

私たちが住むまちづくりは、市民がまちづくりの主役としての自覚と責任を持ち、市民と市は適切に役割を分担し、「自立と協働のまちづくり」を進める条例が制定されています。

条例には、まちづくりに関する課題や市の施策などについて、市民と市が自由に意見交換を行うため、「市民会議」の設置が規定されています。

会議で提案され、公共の利益の増進に効果があると合意がされた結果は、市の施策に反映するように努めることも規定されています。

前回は、超高齢社会の中で、高齢者が明るく元気に過ごすことができる社会づくりに、地域と市が協働で、どう取り組んでいくかを、考えてきました。

平成28年12月6日に第1回目の会議を開催し、その後6回の会議を開催して、「二中地区高齢福祉等推進事業実施方針」をまとめ、平成30年2月20日に、本間市長へ報告し、



正門入口の全景



旧市毛幼稚園全景



旧市毛幼稚園建物

実現に向けて提案書を提出しました。

その結果、各地域で高齢者サロンの立上げ機運が上がり、また令和元年5月から市毛コミュニティセンターへ「ふれあいコーデイネーター」が配置されました。

今年度は、新たな市民会議のテーマとして、市立市毛幼稚園の閉園に伴い、その跡地を二中地区の地域福祉を発展させる拠点としての活用を考えることと、6月30日開催された輪をつくる会理事会で承認されました。

この園は、市毛小学校体育館の南側に隣接しており、一部耐震化が施されています。今後、市の担当課を含めた会議の中で、地域福祉の拠点として活用できることを期待したいと考えます。

### ふれあい会議

#### 柏市を視察

令和元年度最後となる第5回目の「ふれあい会議」を、2月6日(木)に開催しました。

生活支援事業の先進都市と

言われている千葉県柏市を視察し、関係者の皆さんと事業の取り組みなど情報交換を行いました。当地域も団塊世代の高齢化が進んでいくため、市から社会福祉協議会が受託し、「地域の支え合い活動」を充実させるための事業です。

二中地区でも今後必要となる「生活支援サービス」や居場所づくりなどに、参考となる活動を確認できました。

今後、「ふれあい会議」を定期的に開催し、地域の課題の解決や地域福祉を推進する協議体となつて、高齢者が元気に活躍できる地域づくりを目指して活動して参ります。

「ふれあい会議」を定期的に開催し、地域の課題の解決や地域福祉を推進する協議体となつて、高齢者が元気に活躍できる地域づくりを目指して活動して参ります。



地域の支え合い活動の説明



柏市を視察・情報交換



### 高齢者サロン

#### 「さくら・桜」も自粛

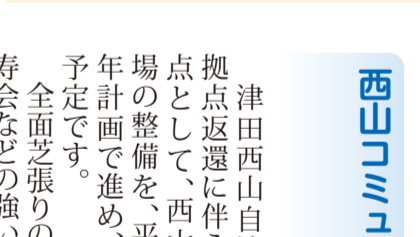
新型コロナウイルスは、自治会活動にも大きく影響しています。その一つが、高齢者サロン「さくら・桜」の自粛。

堀口自治会では、平成30年12月第三土曜日に開催していましたが、感染拡大予防のため、3月から自粛状態が続いています。

月に一度ではありますが、元氣アップ体操、脳トレ、お茶会などを通して、気軽に、無理なく、楽しい時間を過ごしています。思うようにいかな「脳トレ」や「体操」:



高齢者サロン「さくら・桜」



公園での脳トレ・元氣アップ体操

でも、それが笑いや刺激になっています。

しかし、半年間の自粛で、「いつ再開するの」との声を多く耳にします。高齢者には、筋力維持、脳トレ、そして地域の仲間とおしゃべりをするのが大切です。状況を見て、早く再開をしたいと考えています。

### 西山コミュニティ

#### 広場に集う

津田西山自治会では、前防災拠点として、西山コミュニティ広場の整備を、平成30年より3カ年計画で進め、本年度完成する予定です。

全面芝張りの多目的広場は、長寿会などの強い要望により、1年前倒しで完成させ開放しました。現在、グラウンドゴルフや輪投げなど、長寿会を中心とした人々の集いや憩いの場所として広く活用されています。



新しい広場でグラウンドゴルフを楽しむ長寿会のみなさん

### コミュニティ施設の活動報告

#### 利用団体再始動

##### ワイワイふれあい館

新型コロナウイルス感染予防のため3月20日より団体の予約を休止していましたが6月8日のステージ1移行で、受入れを再開しました。

フラダンスが6月12日に、夢の会(布細工)も6月17日より活動を再開しています。



講師への質問時もマスクを忘れず

ふれあいサロンは超高齢者が多く、二つの密を避ける工夫や感染症に罹らない配慮をしながら、9月10日に再開できるよう準備を進めています。

### 会長・副会長 自治会長・部会長 紹介

本会 会長	兼山 隆
本会 副会長	市毛 洋一
本会 副会長	佐藤 大
本会 副会長	西野 幸一
津田第一自治会長	柳橋 正高
津田第二自治会長	海老原 積
津田第三自治会長	七戸 光雄
津田東自治会長	関 正俊
津田西山自治会長	海老澤 寛
市毛北自治会長	蒲生 哲雄
市毛南自治会長	橋本 和雄
枝川自治会長	近藤 清二
堀口自治会長	佐藤 大
武田自治会長	武田 和時
勝田本町自治会長	上野 貞次
環境部 部長	南條 進
安全福祉部 部長	打越 慎武
文化部 部長	飛田 忠幸
体育部 部長	松崎 栄夫
青少年部 部長	弓削 仁一
広報委員 部長	武田 光保
事務局 局長	照沼 滋
ふれあいコーデイネーター	関山 純子

### コミュニティセンター 職員 紹介

市毛コミュニティセンター	センター 長	兼山 隆
副センター 長	照沼 滋	
事務 部長	酒井 由紀	
事務 部長 補佐	米谷 郁子	
窓 口 担当	佐々木 節子	
窓 口 担当	高林 智子	
窓 口 担当	高野 幸子	
津田コミュニティセンター	センター 長	兼山 隆
副センター 長	石井 幸次郎	
事務 部長	大畑 まり子	
事務 部長 補佐	庄子 真由美	
窓 口 担当	池上 保久	
窓 口 担当	山形 公子	
窓 口 担当	友部 敦子	



# 地域トピックス

## 子どもの遊び場・子どもふれあい館の除草

市毛南自治会

5月16日(土)、24日(日)に役員と協力団体の方々が参加して、2ヶ所の除草作業を実施しました。

子どもの遊び場では、市から借りた乗用草刈機で、長く伸びた草を1時間ほどで刈取りました。両日ともに60袋もの雑草を刈り取り、作業後は見違えるような綺麗なグラウンドになりました。皆様のご利用をお待ちしています。



乗用草刈機で効率アップ

## 仲坪公園の除草作業の実施

武田自治会

6月27日(土)今年度2回目の除草作業を役員と当番班で行いました。当日は、曇ってはいたが無風だったため、終る頃には皆汗びっしょり



みんなで作ってきれいさっぱり!

となり、良い運動にもなりました。この公園は、幼児や児童の利用も多いため、気も力も入り、気が付けば良いでき映えになっていました。完了後の爽快感もあった作業でした。

## 地域福祉活動の紹介 いいき健康体操教室

枝川自治会

枝川地区では、昨年度より「いいき健康体操教室」を企画・開催しています。

「いつでも・だれでも気軽に参加できる」教室とし、地域の「たまり場」転作センターで、女性の発案で毎月2回「集まり」を初めました。

始めに指導員から「無理をしないで楽しくストレッチ体操の必要など効果などお話を頂き、大勢の参加者の皆さんは整然と楽しく体操を体験できます。また、休憩時間にはお茶を飲みながら懇談などができ「サロン」的な場ともなり、有意義な時間を過ごしております。



体操の必要性のお話しも!



健康体操を楽しく実施!

## 「新型コロナウイルス」感染拡大防止について

二中地区の地域交流の場である市毛と津田の「コミュニティセンター」では、各行事・活動を自粛し使用を避けておりましたが、緊急事態宣言が5月25日に解除されたことにより諸行事も再開できる運びとなりました。しかし、第2波・第3波の予測もあり、感染拡大防止のために、政府の指針及び県の感染防止のためのガイドラインなどに基づき、ご利用をお願いしています。

### 1 3つの密「密閉・密集・密接」を避ける工夫でのご利用をお願いします。

- 身体的距離の確保 (2m以上(最低1m))
- 十分な換気による使用 (窓や扉を開けた換気)
- 使用後の消毒液による机や椅子などのふき取り
- ロビーなどでの長時間の歓談は自粛

### 2 新しい生活様式に基づく対応をお願いします。

- マスクの着用
- 手洗い、消毒液による指先などの洗浄
- 身体的距離の確保、対面を避ける工夫
- 使用者の体調管理(不調を感じる方は利用を避ける)

### 3 入館時には参加者各自の「検温」をお願いします。



## ガイドラインを守って楽しい時間を過ごしましょう!



3つの密も避けましょう!



入館時の検温を忘れずに!

## 案内板

- ◆ 堀口夏まつり 中止
- ◆ 武田夏まつり 中止
- ◆ 勝田本町祭り 中止
- ◆ 津田夏まつり 中止
- ◆ 枝川子ども夏まつり 中止
- ◆ 津田東三世代交流会 中止
- ◆ 枝川三世代ふれあい交流会 未定
- ◆ 敬老会 各自自治会・自粛
- ◆ 第26回二中地区秋季大運動会 中止
- ◆ 第35回コミュニティまつり 中止

## 令和2年度

## 広報委員の紹介

今年度「ふくわ」の編集を担当する広報委員です。よろしくお願いたします。

- 二瓶 一彦 (津田第二)
- 桑原 雄二 (津田第二)
- 佐々木 博二 (津田第二)
- 阿部 真栄 (津田第二)
- ◎ 武田 光保 (津田第三)
- 槍崎 芳光 (津田第三)
- 小高 一夫 (津田第三)
- 星野 精次 (津田西山)
- 藤野 博己 (津田西山)
- 本間 靖男 (津田東)
- 金澤 淳子 (市毛北)
- 小磯 幸野 (市毛北)
- ◇ 小船 健 (市毛南)
- 奈良 安彦 (市毛南)
- 琴尾 祐之 (市毛南)
- 荻野 正則 (市毛南)
- ☆ 小澤 憲正 (市毛南)
- 津田 征夫 (市毛南)
- 金田 正次 (市毛南)
- 伊多波 俊則 (市毛南)
- 吉澤 多喜雄 (市毛南)
- 大久保 吉彦 (勝田本町)
- 菊池 友幸 (勝田本町)
- 佐藤 大 (堀口)
- (本会副会長・広報担当)

◎委員長兼編集長  
○副委員長 ◇書記 ☆会計

## 編集後記

令和2年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、書面表決の形で行われ、無事終了、新たな年度を迎える事となりました。今回はこの感染症のために殆ど自治会・実践部会・各施設が活動を停止しました。このため、私たち広報委員会もこの困難な状況の中、どうやって皆さまに情報を提供していったら良いか、悩みながらの編集となりました。